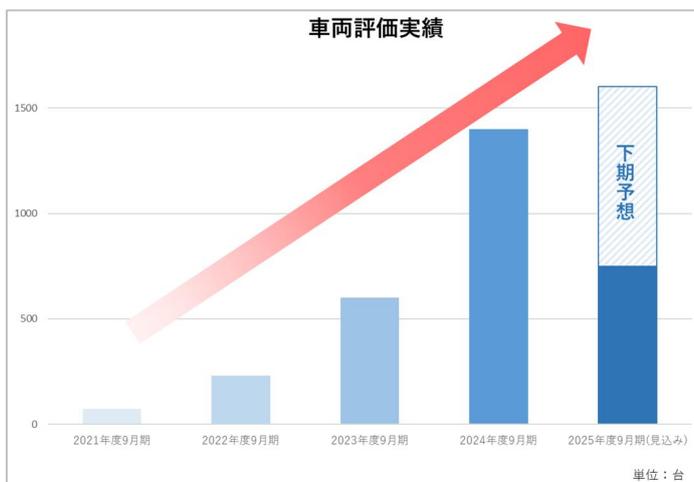


建設機械、農業機械、自動車評価専門の「車両評価」体制を確立、サービス急成長に伴い体制を強化 ～担保・M&A・ファンド組成まで、専門性と対応力を一層拡充～

この度、株式会社三友システムアプレイザル(本社:東京都千代田区、代表取締役:谷 秀千代)は、急成長中の動産評価サービス「車両評価」の専任チームを設置し、多様な評価ニーズへの対応体制を確立しました。

「車両評価」はサービス提供を開始した2018年度より着実に実績を積み重ねてまいりました。特に直近3年間でご依頼が急拡大し、2024年9月期の評価実績は、2022年度9月期比で約6倍、2025年9月期も前年を超えるご依頼が予想されます。このような建設機械、農業機械、自動車・トラックなどの評価ニーズの高まりを受け、専門体制を新たに整備し、事業基盤を強化しています。



「車両評価」は、マーケットプライスを基に、売却価格や残存価値を把握する実務的な評価サービスです。担保・M&A・ファンド組成・リース債権管理など、用途に応じたカスタマイズが可能で、精度とスピードを両立した対応が高く評価されています。

評価のご依頼は、以下のように広範な業種・目的に及びます。

	ご依頼者	評価目的
事業会社	建設会社 レンタル会社 リース会社	保有資産の公正価値把握 資産の購入・売却の参考 リース設定時の将来残価予想
専門家	弁護士 会計士 M&Aコンサルタント ファンド運営者	係争事案における時価・賃料の把握 民事再生企業、更生会社の資産評価 資産の譲渡価格の算定 資産の購入・売却の参考

また、外国製の大型車両や海外に所在する資産にも対応しており、グローバルな資産評価の分野でも活用が進んでいます。プロジェクトファイナンスやクロスボーダー取引における評価実績も豊富で、ASA(米国鑑定士協会)認定上級資産評価士を中心とした「車両評価」専任チームが、このような幅広いニーズに対して、機動的かつ高品質な評価でお応えしています。

あわせて、評価フローの標準化と専門人材の育成を進め、案件ごとの目的・スケジュールに応じた柔軟な対応が可能となっています。

今後も、企業や専門家の重要な意思決定を支える評価インフラとして、公正・中立な立場から価値の可視化を担ってまいります。

株式会社三友システムアプレイザル

<事業開発本部 動産評価室>

TEL:03-5213-9767

MAIL:industry@sanyu-appraisal.co.jp

東京都千代田区平河町 1-2-10 平河町第一生命ビル

<HP>

